

TAMRON[®]

産業の眼を創造貢献するタムロン

2006年12月期 中間決算説明会

2006年8月10日(木)

株式会社タムロン (証券コード: 7740)

目次

・ 中間決算概要及び通期の見通し

1. 事業概要	P.4
<u>中間決算概要</u>	
2. 2006年度中間期業績	P.5
3. セグメント別中間期業績	P.6
4. セグメント別中間期業績	P.7
5. 財政状況	P.8
6. キャッシュ・フロー計算書	P.9
7. 有利子負債及びたな卸資産	P.10
<u>通期見通し</u>	
8. 2006年度通期見通し	P.11
9. 2006年度通期見通し	P.12
10. セグメント別通期見通し	P.13
11. セグメント別通期見通し	P.14
12. 設備、減価償却、研究費通期見通し	P.15
13. 配当金の見通し	P.16

・ 中期戦略

1. ブランドメッセージ	P.18
2. 中期目標(2008年)	P.18
3. セグメント別中期計画	
写真関連事業	P.19
レンズ関連事業	P.20
特機その他事業	P.21
4. 中期の課題	P.22

TAMRON[®]

産業の眼を創造貢献するタムロン

・ 中間決算概要及び通期の見通し

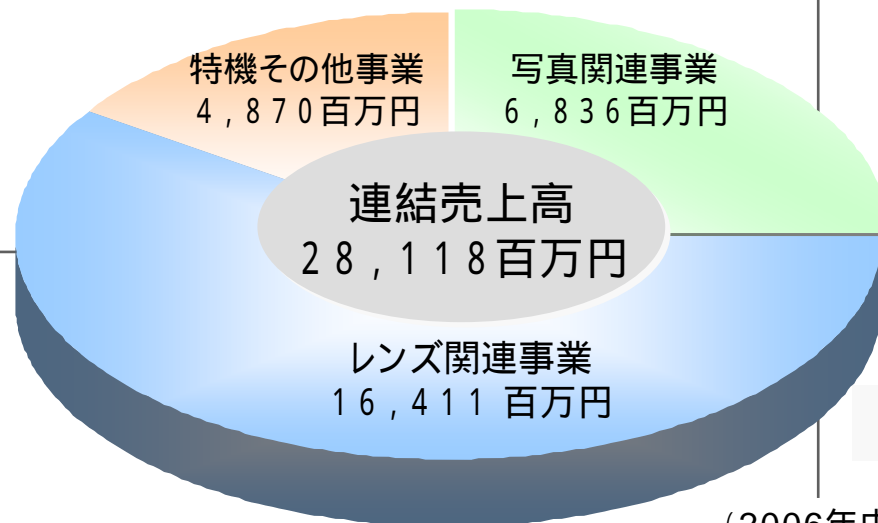
1. 事業概要

【会社情報】

- ❖ グループ会社(連結子会社): 6社
- ❖ 国内事業所数: 4 / 営業拠点: 7
- ❖ ISO9001、ISO14001取得
- ❖ 連結売上高: 28,118百万円(06年中間期)
- ❖ 連結従業員数: 4,871人(06年中間期)
- ❖ 総資産: 45,107百万円(06年中間期)

【事業内容】

- ❖ 写真関連事業
一眼レフカメラ用交換レンズ
- ❖ レンズ関連事業
ビデオカメラ用レンズ
デジタルカメラ用レンズ
携帯電話用レンズユニット
- ❖ 特機その他事業
CCTVカメラ用レンズユニット
プロジェクター用レンズユニット 精密金型
精密プラスチック成形品 原器
各種光学用デバイス部品等



【事業セグメント別売上高】

(2006年中間期)

2. 2006年度中間期業績

(単位:百万円)

	2005年 中間実績	当初 計画値	当中間期	増減 (対前中間期)		増減 (対当初計画値)	
				額	率	額	率
売上高	27,612	27,000	28,118	506	1.8%	1,118	4.1%
経常利益	2,336	2,000	2,294	42	1.8%	294	14.7%
売上高 経常利益率	8.5%	7.4%	8.2%	-	0.3%	-	0.8%
中間純利益	1,643	1,400	1,631	12	0.7%	231	16.5%
1株当たり 中間純利益 (円)	58.27	-	57.85	0.42	0.7%	-	-

3. セグメント別中間期業績

(単位:百万円)

		2005年 中間実績	当初 計画値	当中間期	増減 (対前中間期)		増減 (対当初計画値)	
					額	率	額	率
写真関連 事業	売上高	6,905	5,750	6,836	69	1.0%	1,086	18.9%
	営業利益	828	500	885	56	6.8%	385	77.0%
デジタル一眼レフカメラ市場の好調及びOEM受注好転により、計画に対して増収増益となりました。								
レンズ関連 事業	売上高	16,389	16,810	16,411	22	0.1%	399	2.4%
	営業利益	2,514	2,700	2,260	254	10.1%	440	16.3%
市場競争の激化による販売単価の下落により、計画に対して減収減益となりました。								
特機その他 事業	売上高	4,317	4,440	4,870	553	12.8%	430	9.7%
	営業利益	100	50	238	138	137.7%	188	376.0%
セキュリティ需要の増大とRPTV分野の原価改善により、計画に対して増収増益となりました。								

4. セグメント別中間期業績

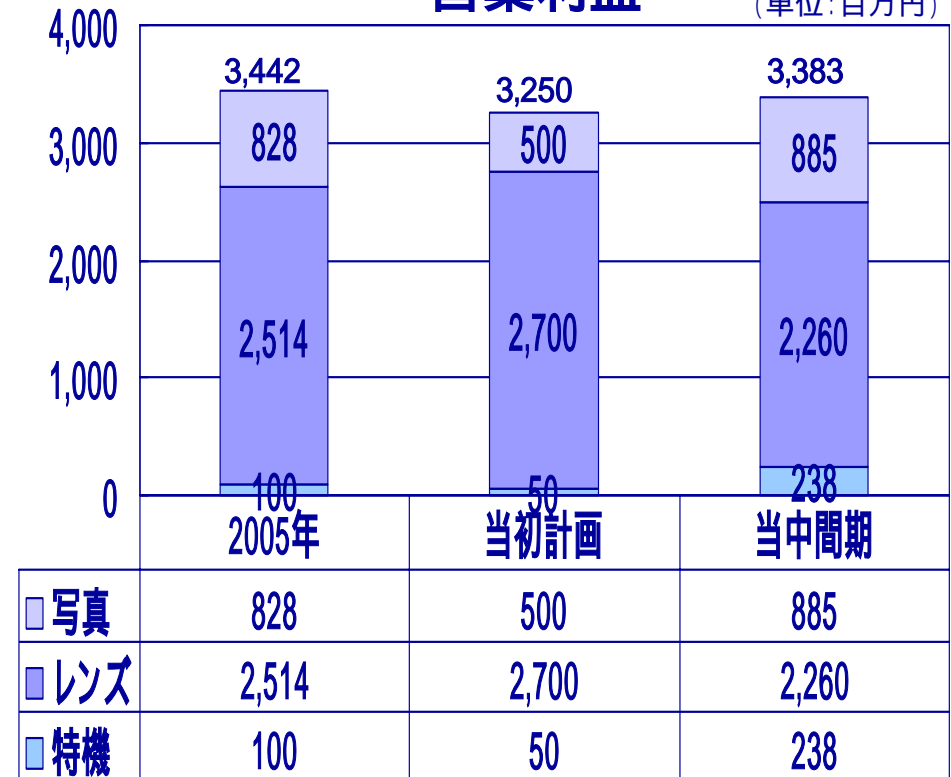
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



5. 財政状況

(単位:百万円)

	2005/6	2005/12	2006/6	増減額 (対前年同期比)	備 考
現金・預金	9,343	11,496	12,259	762	主に、たな卸資産の減少、減価償却費等の増加による
受取手形・売掛金	9,209	7,360	8,472	1,112	売上の増加による
たな卸資産	9,160	8,026	7,369	657	在庫削減活動による圧縮
その他流動資産	1,136	1,663	913	749	主に、未収入金の減少
有形固定資産	10,886	12,939	13,213	273	主に、金型の増加による
無形固定資産	1,033	1,514	1,845	331	主に、ソフトウェアの増加による
投資その他の資産	1,215	1,080	1,033	47	
資産合計	41,985	44,081	45,107	1,025	
流動負債	11,803	11,544	11,720	175	主に、経費の未払計上(未払賞与)増加による
固定負債	3,776	4,195	4,135	60	長期借入金の減少による
負債合計	15,580	15,740	15,856	115	
純資産(資本)合計	26,404	28,341	29,251	910	利益剰余金(中間純利益)による
負債・純資産合計	41,985	44,081	45,107	1,025	

6. キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2005/6	2005/12	2006/6	備 考
営業活動	1,375	6,707	3,225	税金等調整前中間純利益の計上、減価償却費の増加及びたな卸資産の減少等による。
投資活動	2,357	5,120	1,952	レンズ加工設備、情報システム等の設備投資による。
フリーキャッシュフロー	982	1,586	1,272	
財務活動	923	1,500	487	配当金の支払による。
現金及び 現金同等物の残高	9,343	11,496	12,259	前期末と比べて、7億62百万円増加。

7. 有利子負債及びたな卸資産

(単位:百万円)

有利子負債		2005/6	2005/12	2006/6
	借入金残高		7,549	7,439
借入金依存度		18.0%	16.9%	16.6%

(単位:百万円)

たな卸資産		2005/6	2005/12	2006/6
	たな卸資産		9,160	8,026
回転月数		1.99ヶ月	1.62ヶ月	1.57ヶ月

8 . 2006年度通期見通し

(本見通しにおいては、為替レート1米ドル = 114円、1ユーロ = 144円を前提としております。)

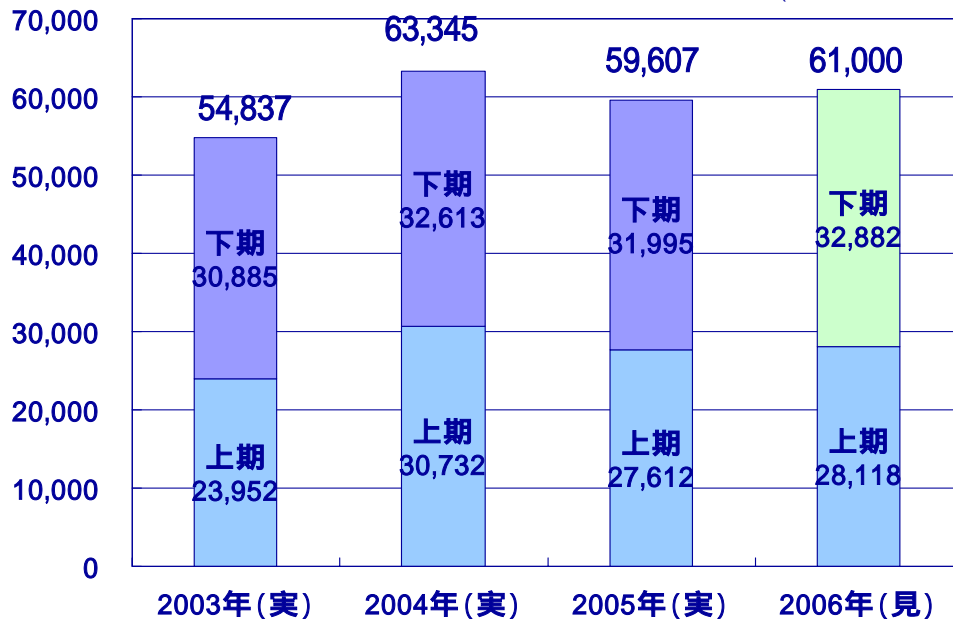
(単位:百万円)

	2005年 実績	上期実績	下期見込	通期見込	増減 (対前期比)	
					額	率
売上高	59,607	28,118	32,882	61,000	1,393	2.3%
営業利益	4,803	2,518	3,282	5,800	997	20.8%
営業利益率	8.1%	9.0%	10.0%	9.5%	—	1.3%
経常利益	4,225	2,294	2,706	5,000	775	18.3%
当期利益	3,343	1,631	1,869	3,500	157	4.7%

9. 2006年度通期見通し

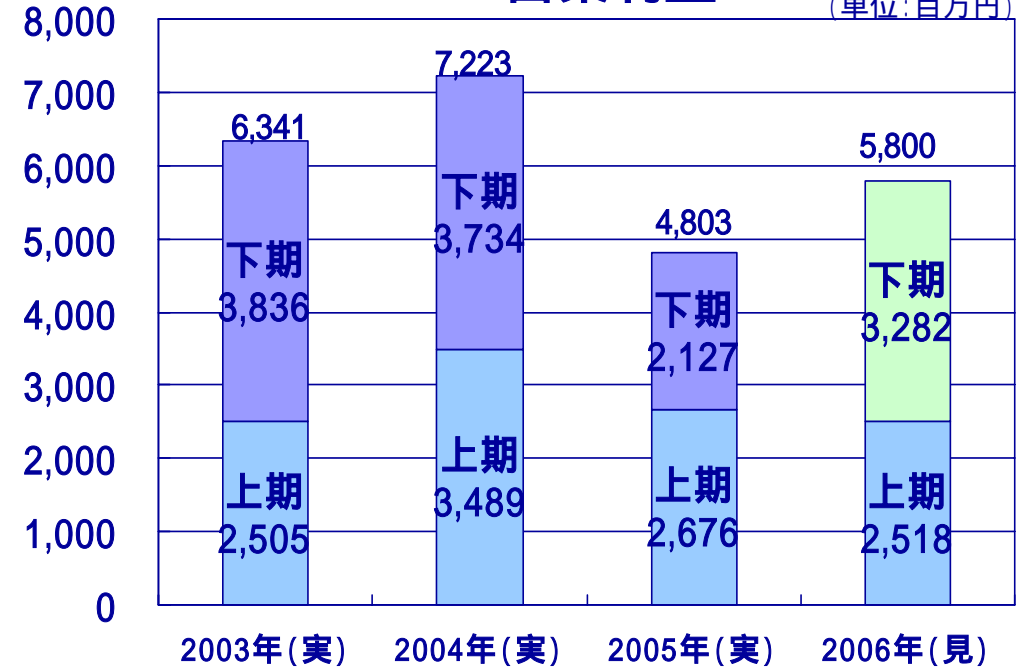
売上高

(単位:百万円)



営業利益

(単位:百万円)



上期	23,952	30,732	27,612	28,118(実)
下期	30,885	32,613	31,995	32,882(見)
通期	54,837	63,345	59,607	61,000(見)
前期比	31.9%	15.5%	5.9%	2.3%

* (実):実績
* (見):見込

上期	2,505	3,489	2,676	2,518(実)
下期	3,836	3,734	2,127	3,282(見)
通期	6,341	7,223	4,803	5,800(見)
前期比	72.0%	13.9%	33.5%	20.8%

* (実):実績
* (見):見込

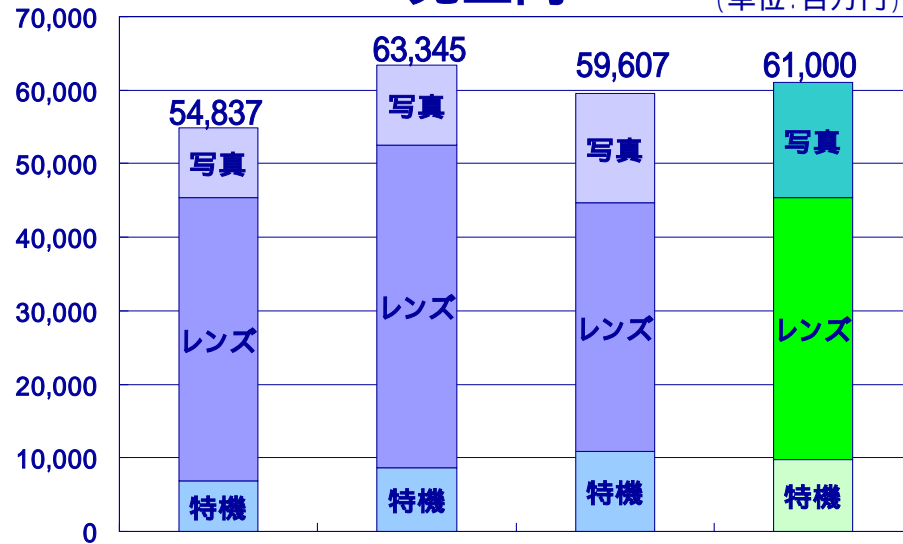
10. セグメント別通期見通し

		2005年 実績	当初計画	通期見込	増 減(対前年期末)		増 減(対当初計画)	
					額	率	額	率
写真関連 事業	売 上 高	14,912	13,520	15,600	688	4.6%	2,080	15.4%
	営 業 利 益	1,788	1,700	2,300	512	28.6%	600	35.3%
	営 業 利 益 率	12.0%	12.6%	14.7%	-	2.7%	-	2.1%
OEM好転、下期新製品の投入による。								
レンズ関連 事業	売 上 高	33,800	36,790	35,600	1,800	5.3%	1,190	3.2%
	営 業 利 益	4,418	5,300	4,800	382	8.6%	500	9.4%
	営 業 利 益 率	13.1%	14.4%	13.5%	-	0.4%	-	0.9%
市場競争の激化による販売単価の下落による。								
特機その他 事業	売 上 高	10,894	10,689	9,800	1,094	10.0%	889	8.3%
	営 業 利 益	649	700	600	49	7.6%	100	14.3%
	営 業 利 益 率	6.0%	6.5%	6.1%	-	0.1%	-	0.4%
セキュリティ分野は順調、但しRPTV分野の減少による。								
消去又は全社		2,052	1,900	1,900	152	7.4%	-	- %
合 計	売 上 高	59,607	61,000	61,000	1,393	2.3%	-	- %
	営 業 利 益	4,803	5,800	5,800	997	20.8%	-	- %

11. セグメント別通期見通し

売上高

(単位:百万円)



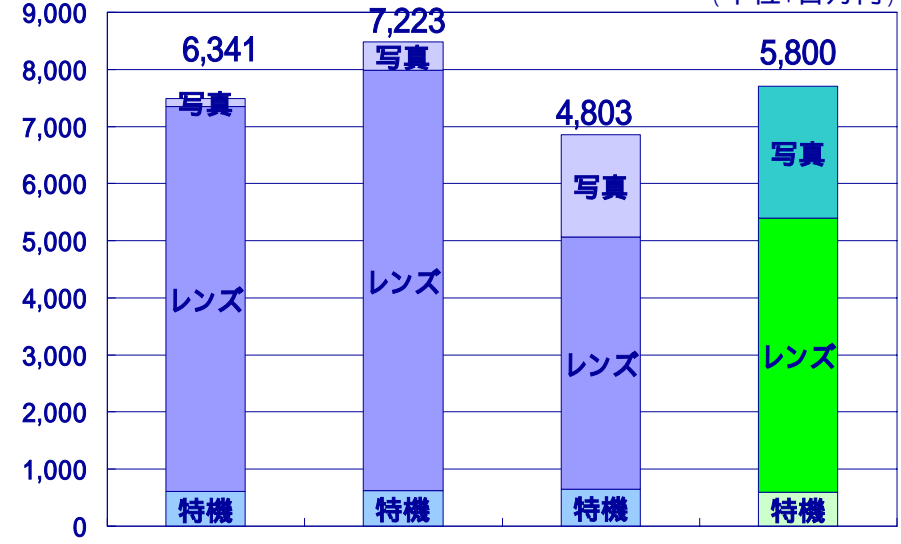
2003年(実) 2004年(実) 2005年(実) 2006年(見)

	2003年(実)	2004年(実)	2005年(実)	2006年(見)
写真	9,468	10,765	14,912	15,600
レンズ	38,519	43,980	33,800	35,600
特機その他	6,849	8,599	10,894	9,800
合計	54,837	63,345	59,607	61,000
前期比	31.2%	15.5%	5.9%	2.3%

* (実):実績
* (見):見込

営業利益

(単位:百万円)



2003年(実) 2004年(実) 2005年(実) 2006年(見)

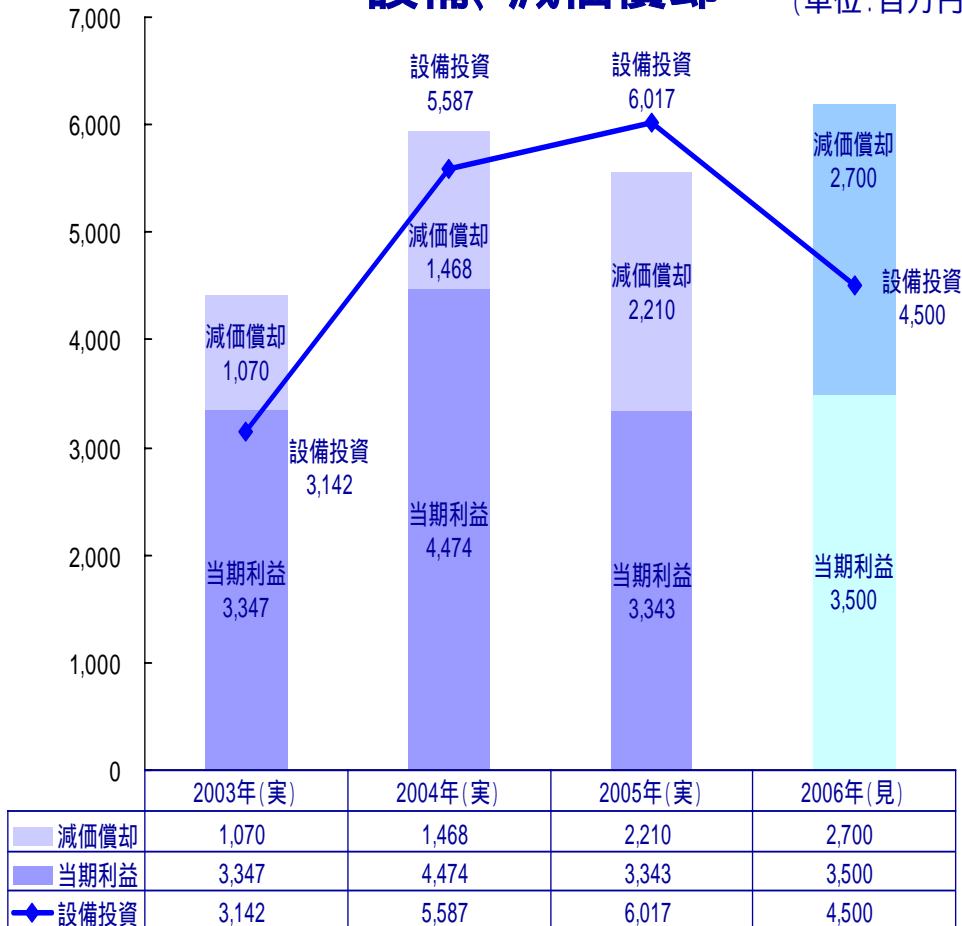
	2003年(実)	2004年(実)	2005年(実)	2006年(見)
写真	137	492	1,788	2,300
レンズ	6,741	7,363	4,418	4,800
特機その他	610	620	649	600
消去又は全社	1,147	1,253	2,052	1,900
合計	6,341	7,223	4,803	5,800
前期比	72.0%	13.9%	33.5%	20.8%

* (実):実績
* (見):見込

12. 設備、減価償却、研究費通期見通し

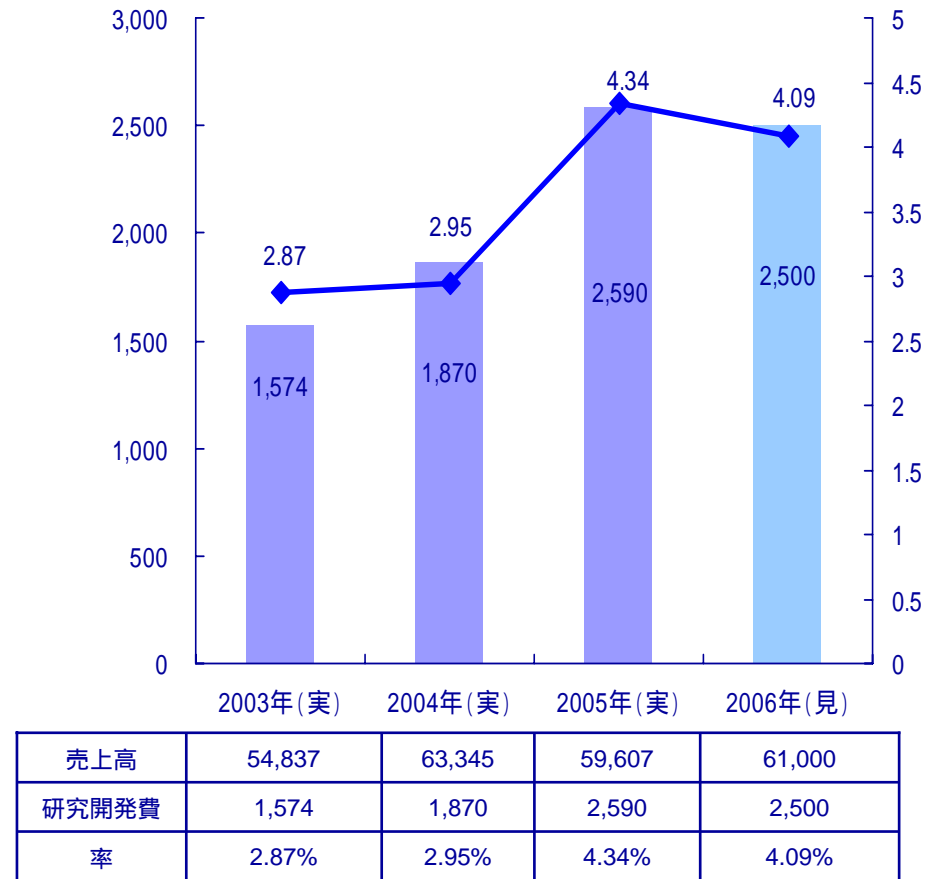
設備、減価償却

(単位:百万円)



研究開発費

(単位:百万円)



- ・03年 レンズ加工設備、CAD・CAM設備
- ・04年 レンズ加工設備、金型製造設備
- ・05年 新金型工場、情報システム投資
- ・06年 レンズ加工設備、情報システム投資、金型

13. 配当金の見通し

(単位:円)

	2003年	2004年	2005年	2006年 (予想)
中間	—	15.00	* 12.50	15.00
期末	20.00	25.00	20.00	20.00
合計	20.00	40.00	32.50	35.00
配当性向 (連結ベース)	7.8%	12.4%	27.7%	28.2%

* 平成17年8月19日付けで行った1:2の株式分割による調整を反映しております。

TAMRON[®]

産業の眼を創造貢献するタムロン

・中期戦略

1. ブランドメッセージ

産業の眼を創造貢献するタムロン[®]

2. 中期目標 (2008年)

売上高: 700億円

営業利益: 70億円 (営業利益率 10%以上)

経常利益: 61億円

3. セグメント別中期計画

写真関連事業

売上高：20,300百万円

2008年
中期目標

- ❖ 成長するデジタル一眼レフカメラ用レンズへの積極的投資
- ❖ OEM事業の体制強化

タムロンDi IIシリーズ [デジタル専用]

SP Di II レンズ



デジタル専用
超広角ズーム

SP AF11-18mm
F/4.5-5.6 Di II
LD Aspherical [IF]
(Model A13)
17-28mm 相当

Di II レンズ



デジタル専用
望遠ズーム

AF55-200mm
F/4-5.6 Di II
LD Macro
(Model A15)
85-310mm 相当

Di II レンズ



デジタル専用
超高倍率ズーム

AF18-200mm
F/3.5-6.3 XR Di II
LD Aspherical [IF] Macro
(Model A14)
28-300mm 相当

SP Di II レンズ



デジタル専用
大口径標準ズーム

SP AF17-50mm
F/2.8 XR Di II
LD Aspherical [IF]
(Model A16)
26-78mm 相当

3. セグメント別中期計画

レンズ関連事業

売上高: 40,000百万円

2008年 中期目標

- ❖ DSC、DVC市場は、コスト競争力の強化、海外生産シフトを一層進め、売上、利益の確保を図る。
- ❖ 携帯事業に関しては、光学ガラスを使用する高メガ・ズームを開発し、市場に投入する
- ❖ 魅力あるサプライヤーとして新技術による革新を進め、受選力を強化し、付加価値を高める。



3. セグメント別中期計画

特機その他事業

売上高: 9,700百万円

2008年
中期目標

- ❖ CCTV事業は、海外での体制を強化し、売上、利益の確保を図る
- ❖ 自動車関連 / 虹彩 / ロボット等の産業の眼の受注拡大
- ❖ プロジェクター光学デバイス事業は、技術基盤を確立し、採算を最優先する



4. 中期の課題

1. 「産業の眼を創造貢献するタムロン」として各事業とも魅力的な新製品を積極的に市場投入する
2. プロジェクター光学デバイス事業の再構築とカメラ付携帯事業の拡充
3. 光学技術を中心とした要素技術開発と知的財産戦略の強化推進
4. 海外生産並びに海外調達、さらに国内工場の原価低減活動の一層の推進
5. 金型製造革新によるリードタイム短縮
6. グループ管理体制強化による収益力強化とコンプライアンス体制の確立
7. 内部統制の整備と運用
8. グローバル情報システムの構築による全社業務改革と在庫圧縮の推進
9. キャッシュ・フロー経営の推進と連結バランスシートの改善
10. ISOを中心としたグループ企業の環境改善活動推進と品質マネジメントシステムの一層の向上

将来の事象に係る記述に関する注意

1. 本資料は、2006年中間期の業績及び今後の経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の購入や売却を勧誘するものではありません。
2. 本プレゼンテーション資料及び当社代表者が口頭にて提供する情報は、現時点で入手可能な情報をもとに当社が合理的であると判断した一定の前提に基づいております。
3. 実際の業績は記載の見通しとは異なる可能性があり得ますことをご承知おき下さい。
4. 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。